

コース26 かのまたやま 鹿俣山とラベンダー園 えん

リーダー CL M/T SL K/T

実施日 平成27年8月2日(日)

天候 晴れ一時曇り

参加者 26 (男性 6 女性 20)

グレード B

コースポイント

ポイント	到着時間	出発時間	備考
秋葉区役所前		5:50	新津駅西口から関越道へ
塩沢石打SA	7:35	7:50	休憩、登山靴に履き替える
沼田IC	8:25	8:25	国道266号を走行
玉原CH	9:05	9:15	ストレッチ後、1班より歩行、ブナ林を満喫
パーク分岐	10:50	11:00	ブナ平のブナ地蔵を拝み、カメラに収める
鹿俣山山頂	11:30	12:25	集合写真、頂上直下の日陰で昼食
ラベンダー園	13:20	13:25	大勢の人達で賑わっている。集合写真
銅金沢分岐	13:35	13:35	ラベンダー、その他の花を観賞する。
玉原CH	14:20	14:40	「たんばらラベンダーパーク」で休憩
秋葉区役所前	18:15		予定より一寸早く帰着

山行等概要(幹事のコメント)

- 参加申込み多数でいろいろ検討したがやむをえず、申し込み先着順に小型バス補助椅子を使って27名で打ち切り、お断りした。出発当日キャンセル1名出る。お断りした人達には申し訳なくしております。
- 登山道は良く整備されたブナ林の緩い登りで、途中の「沼田の名木百選ミズメ」で休憩を取り、笹道を進み、ヒヨドリ、ヤマハハコの大群生のスキー場ラベンダーパーク分岐で眺望を楽しみ頂上へひと登り、疲れた方もおられたようだ。
- 下り銅金沢でちょっとしたハプニングがあったが事なきを得た。
- 以前同じコースを歩いた時は、ラベンダー園の下りは無料であったが、7月10日の下見の時、ラベンダーの最盛期は一人1000円の入園料が必要とのこと、「園途中の銅金沢を下るが、それでも料金が必要か?」と聞くと、「その時による」との事であった。そこで当日は園内をちょっと急いで通過し、運良く無料で下山出来て団体料金一人900円を返却することが出来た。
- 7月31日から、日本各地は連続猛暑で、当日の岐阜県多治見市では最高の39.2度だったとか。
- 猛暑の中、何とか全員無事に下山出来てホットしております。皆さんの協力に感謝!



鹿俣山山頂にて(猛暑の中、全員頑張りました)

「鹿俣山とラベンダー園」に参加して

(1582) K/H

山に全くの素人がこのクラブに参加させてもらい4年目、今年に入って2回目の参加です。いつも不安がつきまわっています。果たして「登れるだろうか」と思う。リーダーのM/Tさんに「大丈夫、ゆっくり登るから」と安心薬をもらい、参加することにしました。

さて、玉原湿原到着です。去年も来たブナ林だ。ブナの巨木と神秘の静けさの中を歩き続けると、ふと不思議な感覚にとらわれることがあります。どこからか何か聞こえたような、「両親の声」かな。この歳になっても会いたい気がします。山岳信仰に通じるのでしょうか？また林の中で自然に出来た愛らしい苔むしたブナ地蔵に出会いました。思わず手を合わせてしまいます。

いよいよ登山です。自分の背丈ほどの笹原を歩き続けると、両脇には遅咲きの花々が咲いています。やがて、スキー場のゲレンデに出ました。ここでもいろいろな花が咲いていますが、花の名に疎い私には分かりません。(けれど、このクラブに入り、大発見がありました。あの私が好きな雪割草が、本来違うそうです。有り難いことに本物はこれだという花を知りました。(余談ですが)



ラベンダー園にて（ラベンダーの色が見事でした）

「なぜリフトは動いていないのかなあ」グチです。異常な暑さのせいで。風も無い。こんな時どこともなく聞こえてくる班の人の声かけやおしゃべりは、そよ風のように聞こえます。

しばらく上ると西側に谷川連峰が望める。眼下には玉原湖が見えます。極上の風景だ。この熱風の中、全員で見る事が出来、登った。鹿俣山山頂から、左の眼前に前武尊岳が見えたが、さらに前方南西方向には赤城山、榛名山、浅間山が望めるはずと、サブリーダーの説明がありましたが、イメージだけにとどめておこう。

雷が鳴り、早めの下山となりました。雨がポツポツと当たり、少々急ぎ気味です。これは後のことでしたが、ちょっとしたアクシデントがありました。幸い怪我も無く、良かったですね。しかし、これは参加者だけの「シークレット」です。この時のリーダー達、並びに周りの人達の判断力はすばらしい。

ラベンダーパークに到着。時間通りです。入園入り口とは逆に、坂上から坂下に向かって歩き、左右の一面のラベンダーの香りをかぎ、紫色を目に入れ、ラベンダー園途中の遊歩道登山道へと一斉に通り抜けました。ちょっとしたスリルが楽しかったですね。これも参加者だけの「秘め事」です。

帰りのバスの中は皆満足感で、めいめい大いに語り、笑い合いました。熊、蜂の対処法について説明してくださる方がいて、これから大変役立つと思います。

無事終了して、自分の中で「良かったね」と頷きました。リーダーの方々、並びに参加者の皆様全員に感謝でいっぱいです。ありがとうございました。